

フォーラムのお知らせ

大学教育再生加速プログラムフォーラム

【日時】1月23日【時間】13:00~16:00【場所】北九州市立商工貿易会館 2F 多目的ホール ※入場無料

1月23日(土)13時から、北九州市立商工貿易会館2階多目的ホールにて地域共生教育センター主催の大学教育再生加速プログラムフォーラムが開かれます。このフォーラムは、学生の地域活動を学内外の方々に広く知っていただき、更なる活動の活性化を図るために開催されるものです。

今年は421Lab.の7つのプロジェクトが発表を行います。日々の活動の紹介や、振り返りを通して課題などを発表する予定です。ただいま私たち学生は発表に向けて懸命に準備をしています!多くの方のご来場をお待ちしております!

Information 体験記

11月28日(土)・29日(日)に門司港で、約1万5000個のキャンドルに火を灯すイベント「門司港キャンドルナイト2015」が開催されました。地域の人々が集い、企業や団体の協力のもと周辺の事務所の照明を消してキャンドルを灯すことで、エネルギーに頼らない「スローライフ」を実感することや、コミュニケーションを交わすことで人と人との「絆」を深め、「笑顔」を共有することを目的として行われています。

私は28日にキャンドルを飾る台の組み立てやステージの飾りつけをするボランティアに参加してきました。私たち大学生の他にも、地元の高校生や、地域の方々など多くの方が参加していました。寒い中での準備は大変でしたが、地域のボランティアの方々

とともに楽しい雰囲気の中で準備を行えました。また、普段あまり来ることのない門司港の様子を知ることができ、よい経験になりました。(地域創生学群3年下田)



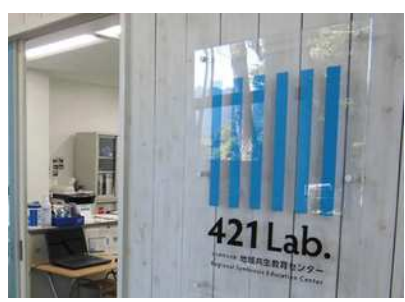
編集後記

Lab.Times 冬号を手にとっていただき、ありがとうございます。本号を作成するにあたり、ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。今号で421Lab.運営スタッフの3年生が引退となりました。先輩方がラボを引退されて寂しい思いもありますが、これからは新体制で頑張っていきたいと思っております。今年も421Lab.をよろしく願います。次回は4月発行です!ご期待下さい☆

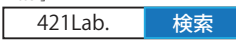


編集長:植山 真理

《プロフィール》
法学部政策学科1年
今年度から421Lab.に所属。
いつまでたってもバイトのトレーニング期間が終わらないのが目下の悩み。そんなバイトの疲れを癒してくれるのはモーニング娘。



北九州市立大学 地域共生教育センター (421Lab.)
〒802-8577
北九州市小倉南区北方4-2-1 (北方キャンパス2号館1階)
Open / 10:00-18:00 (月~金)
[Tel] 093-964-4092 [Fax] 093-964-4088
[Mail] info421@kitakyu-u.ac.jp
[Web & Facebook & Twitter]



《編集者:植山・下田・佐藤・平・清水》
Lab. Times 04号 2016年1月5日発行

『Lab. Times』は北九州市立大学 地域共生教育センター 421Lab. が発行している広報紙です。



ファッションネットワークプロジェクト mArs(マーズ)

Think about our future!

12月6日(日)に小倉北区のキッチンQの2Fフロアにて、421Lab.で活動するファッションネットワークプロジェクト「mArs」(以下、mArs)主催のファッションイベント「Share the ring ~next stage~」が開催されました。イベントのコンセプトは、リユース・リデュース・リサイクルの『3R』。今回は環境未来都市である北九州をイメージしたファッションイベントにするため、mArsの新しい挑戦として、それぞれの3つのRをテーマにした3部構成でファッションショーが行われました。

の材料には、ペットボトル・新聞紙・雑誌・プルタブ・CDなどが使用されており、「3R」のファッションの世界を堪能できるイベントとなりました。

今回のイベントが最後の活動だったリーダーの阿部さん(法学部3年)は「今回のイベントは2年半の集大成として、約4ヶ月間準備をしてきました。ショーを企画して完成させるまでに一番必要なことはミーティングだと思っています。小さな努力の積み重ねが無ければ、本当の達成感はずるいことはできません。後輩たちには、私たち3年生が思いつかなかったようなショーをしていってもらいたいです。」と語って下さいました。(記者:佐藤)



ファッションネットワークプロジェクト「mArs」はファッションを通して人と人とのつながりを作ることを目的に活動しています。「mArs」には、m「mode(ファッション)」、A「Ami(仲間)」、r「rencontre(出会い)」、「region(地域)」、s「sourire(笑顔)」という意味が込められています。主な活動はファッションショーであり、会場やモデルの確保、企画全般を自分たちで行っています。他にもラジオ出演や服屋さんの取材、ワークショップなども行っています。

北九州の魅力を伝える 日帰りツアー企画体験プロジェクト



北九州の魅力伝える日帰りツアー企画体験プロジェクトは、まだ広く知られていない北九州の地域資源を地元に住む若者ならではの視点で発掘し、日帰りツアーとして商品化し、バスツアーを催行することを通じて、北九州市の新たな魅力を発信して交流人口増加のきっかけを作り、地域活性（観光振興）に繋げることを目的としています。その背景には、北九州の地域課題として、市内外共に「北九州市＝観光地」という認識がまだまだ希薄であり、また訪れた観光客も市内のエリアで周遊をするため、市内全体への広がりが少ないということが挙げられるためです。



↑山口大斗さん



↓中司有香さん

北九州の魅力はこうっちゃ！

12月5日（土）、北九州市立大学の学生が企画・立案したバスツアーが実施されました。

このバスツアーは企画の段階から学生が携わったもので、去年の9月に福岡の阪急交通社（以下、阪急）にて行われたプレゼンテーションを経て採用されたツアー案が今回商品化されました。また阪急が発行する旅行誌以外の広報活動も全て学生が行い、情報番組への出演や北九州市観光協会のホームページなどで告知を行いました。その甲斐もあり、当日は21名のお客様がツアーに参加して下さいました。ツアーの内容ですがまずは小倉城の見学から始まり、次に去年の7月に世界文化遺産に登録された東田第一高炉・八幡製鉄所旧日本部事務所をガイドの方の説明を聞きながら見学した後、若松の老舗「栄寿司」で食事をし、最後に今回のバスツアーの目玉である北九州の工場夜景クルーズに参加するという、北九州の魅力を堪能できるというものでした。

今回は、このツアーの企画に携わった2名のメンバーの方にインタビューを行いました。山口大斗さん（地域創生学1年）は、「ツアー当日は悪天候だったため、東田第一高炉・八幡製鉄所旧日本部事務所を見学している最中は、お客様があまり満足しているようには感じなかったので不安でした。しかし工場夜景クルーズでは、お客様の喜びと感動の声を直接聞くことができて安心しました。クルーズが終了した際のお客様の拍手喝采には感動し、今回のツアーを企画してよかったと思いました。自分達が企画したツアーに同行する

ことで、直接お客様の表情や声を見たり聞いたりすることができて、とてもいい経験になった。」と語って下さいました。

続いては、小倉城までのバス内で北九州の魅力についてのPRを行った中司有香さん（経済学部3年）は、「このプロジェクトに参加して自分の行動への責任感が強くなりました。ツアー1つ作るのに多くの苦労と、多くの方との協力が隠されているとは思いませんでした。挑戦をしてみて得られることは想像以上に多いので、これからも興味のあることにはどんどんチャレンジしていきたいです。」と語ってくれました。

実際に参加して下さった方々にお話を伺うと、「博多から北九州市は近いのに、交通費は高いし、交通渋滞にも巻き込まれるからなかなか行くとは思わない。しかし、今回ツアーではとても楽しむことができたので、参加して良かった。」といった声を聞くことができました。

今回のツアーのように、これからも北九州の魅力を発信し、今後さらに北九州を訪れる人が増えてほしいと思います。

（記者：植山）

環境 ESD プロジェクト



次世代に繋ぐ、復活の軌跡

かつて北九州市は日本の四大工業地帯の一つとして重化学工業を中心に発展し、日本の経済成長に大きな影響を与えました。しかし急激な経済成長は、一方で激しい公害をもたらし、1960年代の北九州の空は「ばい煙の空」と呼ばれるようになりました。しかし、そのような状況の中、地元の婦人会が立ち上がり、行政や企業を動かして北九州市は公害を克服していきました。421Lab.の「青空学」プロジェクトは、北九州市の公害克服に尽力してきた方々の軌跡をインタビューを通して記録に残すことで多くの人に伝えていくという環境ESDプロジェクトの活動です。

その青空学プロジェクトが12月5日（土）、北九州国際会議場メインホールにて行われたタカミヤ・マリバー環境保護シンポジウムにて、これまでの活動についての中間発表を行いました。

シンポジウムではメンバーの代表5人がインタビューを行った気付いたことを中心に、青空学への参加理由や今後の展望など



を発表しました。青空学として初めての発表であったうえに国際会議場という広い会場で行われた為、発表時のメンバーには多少緊張の様子も見られました。しかし、緊張しながらも真剣に発表を行うメンバーからは自分たちの活動を知って欲しいという熱い思いを感じる事が出来ました。

メンバーの福住彩香さん（経済学部1年）は発表を終えて、「まだ始まったばかりの青空学のことをシンポジウムに来られた多くの方々に知っていただくことができたと思います。また発表後は、お褒めの言葉やこれからの活動への激励をいただくことができ、とても良い機会となりました。これからも活動を続け、より多くの方々に公害克服のことを伝えられるよう頑張りたいと思います。」と語って下さいました。（記者：清水）

環境ESDプロジェクトは、「環境」をテーマに学内外で活動しています。主な活動は、国内外で展開されている「清掃活動『green bird』」や「青空学」です。そのほか、環境活動の企画立案を行うことで、主体性を持って、楽しみながら環境について学んでいます。